

## 平成22年度第5回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成23年1月27日(木) 午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員 10名(2名欠席) 傍聴者：なし  
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長  
サービス係長、資料係長、喜平図書館長

- 4 配布資料  
資料は、省略させていただきます。

### 5 議題等

#### (1) 報告事項

##### ① 図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

- 11月17日 児童文学講演会 「児童文学にえがかれた家族」  
市村久子氏 中央図書館 53人
- 11月20日 福祉講演会 「人と犬の共生」 大木トオル氏  
小川西町図書館 33人
- 12月 1日 第四小学校全校集会 パワーポイントによるブックト  
ーク 中央図書館職員
- 12月 5日 大人のための図書館探検ツアー 8人 中央図書館
- 12月17日 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う住民説明会
- 18日 同上
- 20日 同上
- 1月 5日 ふるさとの新聞元旦号展 ～13日 中央図書館  
15日～19日 大沼図書館
- 1月22日 藪内正幸絵本原画展 ～3月16日  
中央図書館 2階展示ギャラリー
- 1月22日 ブックリサイクル(雑誌)  
中央・地区図書館リサイクルコーナー

(今後の予定)

- 1月29日 児童文学講演会 「藪内正幸と動物の世界」  
藪内竜太氏 中央図書館 予定

2月 5日 大活字本の展示 ～24日 中央図書館 予定  
2月12日 19日、26日 民話講座  
3月10日 障がい者サービス交流会 中央図書館 予定

② 平成22年度館別月別貸出状況について（資料No.2）

12月末の貸出冊数は1,229,011点で昨年同期と比較し約1千点減少している。館別では、中央図書館、花小金井図書館、津田図書館及び小川分室の貸し出しが伸びている。

新規登録者は、前年より減少しているが、貸出者数は、増加している。中央図書館、花小金井図書館が伸びている。

③ 広域利用市別貸出状況について（資料No.3）

東村山市の利用は多いが、昨年度と比較すると貸出者数、資料数が減少している。しかし、市内は貸出者数、資料数が増えている。

④ 市議会12月定例会について

一般質問で図書館に関するものは2件あった。

1件目は「生き生きした子どもをはぐくむ学校図書館にするために」、2件目は「仲町公民館・図書館の合築には高効率化とIC化の基本設計を」

⑤ ふるさとの新聞元旦号展について

1月5日から13日が中央図書館で1月15日から19日が、大沼図書館で開催した。今年は65社に依頼し55社から寄贈があった。アンケートでは毎年読んでいるという声があり、恒例行事として定着している。読売新聞の1月12日付で紹介されている。

⑥ 行政サービス民間提案制度について

今年度から始まった事業で、広く民間の方から市の事業について提案をいただく制度。図書館では、「新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業」に対して、「産業育成のための情報提供という視点を盛り込み、地域産業の育成に係る記事の収集・発信を付加した取組みを行う」という提案があった。これに対し選考審査した結果「不採択」と決定した。

⑦ 仲町公民館・図書館改築に伴う基本設計の住民説明会について

説明会は平成22年12月17日（金）、18日（土）、19日（日）に実施し参加者は、合わせて75人であった。

その内容は市から昨年7月に決定した方針とパブリックコメントの結果について説明し、事業者からは施設のコンセプトや配置案についてパワーポイントと複数の模型を使って現段階の案を説明した。その後、参加者から意見、要望をいただいた。

今後の予定は、意見、要望をできるだけ取り入れながら計画案をつくり、3月になると思うが、再度住民説明会を開催し、報告を行う。その後、基本設計を今年度末までに完成させる。

平成23年度は、実施設計を行い、平成24年度に解体工事に入り、仲町図書館については、平成24年2月から休館し、蔵書等の移動をする予定でいる。平成24年度から25年度に建設工事を行い、平成26年度の早い時期にオープンを予定している。

## (2) その他

### ① 東京都多摩地域公立図書館大会開催について

平成23年2月8日(火)第1分科会 館長協議会 「多摩地区図書館のあゆみとこれからの展望」国分寺市のいずみホール、2月9日(水)第2分科会 障がい者サービス 「市民に広げようさまざまなDAISYー多摩からの発信ー」いずみホール、2月16日(水)第3分科会 地域資料 「行列ができる！講座とチラシの作り方」アミューたちかわで行われるので直接会場へ出向いていただければ参加が可能である。

### ② 平成23・24年度の図書館協議会委員の募集について

平成23年4月1日から平成25年3月31日までの期間の委員を5名募集している。

### ③ 全国の図書館大会について

平成23年10月に全国図書館大会が多摩地域、主に調布市中心で開催される予定となっている。

### ④ 平成21年度、22年度小平市図書館協議会の課題について

- ・小平市市立図書館の選書基準の改正について
- ・小平市立図書館の資料購入の見直しについて
- ・市民ニーズを把握することによる、購入資料の反映について
- ・電子図書館の最近の動向等について

以上のことについて、3月の協議会において議論し、来年度以降も議論を重ねて平成版の選書基準を作成してもらいたい。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：仲町図書館の24時間貸出対応のロッカーはどこになるのか。

事務局：正式には、決定していないが、防犯上安全なところで、できる限り正面にしたい。

委員：児童コーナーは2階の北側ではなく、日の当たる南側でゆっくり読書ができる位置にしてもらいたい。また、おはなし室を同じ階にしてもらいたい。

事務局：現在2階の部分は、南側が多目的室、北側が読書ラウンジとなっているがこれは入れ替えをして南側に児童コーナーを設けようと考えている。そして、おはなし室と保育室のことは、部屋の大きさ、蔵書数、公民館との融合及び基本方針を考えると同じ階は難しい。

委員：読書ラウンジの一角をカーテンで仕切るぐらいの広さをおはなし室として作れないか。

事務局：児童コーナーの一角をカーテンで仕切ることについては、もう1回できるかどうか確認する。

委員：スケジュール的には、いつまで住民が意見をいうことができるのか。もう一度、意見を言える機会はあるのか。

事務局：スケジュールは、基本設計を仕上げるのが3月25日までであるため、基本設計に係る部分については、今日までくらいに意見がでないといけない。実施設計において、反映できるところは反映していきたい。また、住民の方への報告会は、3月の初めに行う予定になっているが、その際も大きな変更は難しい。そのこともあり12月に3日間住民説明会を行い、12月末までアンケート用紙も配布し意見をいただいている。大きな修正は難しいが、今は、修正が可能の時期であり、先ほどの児童コーナーについては、もう1回事業者と話を詰めていきたい。

委員：2階の読書ラウンジが3か所に分かれているのがコンセプトとなっているが、区切られたところの通路はどれくらいの幅があるのか。

事務局：親子で通れるくらいのスペースはある。

委員：1階のカフェラウンジは、エントランスラウンジに少し設け、学習室にしたらどうかという意見を出したがどうなったか。

事務局：最初の基本方針の時に飲食ができ雑誌、新聞を読んだり、談話ができるコーナーを設置するということが方針となっており、落ち着く場所としてカフェラウンジは設けたい。

委員：基本的なことだが、2階の×点のところは、吹き抜けなのか。たしか、公民館、図書館、ともに狭くなるということでスペース効率を考えてい

かなければならない。建ぺい率、容積率はぎりぎりまでであろうが、建物の形状からして、単に四角くするより分けることにより狭くなっていないかということと、吹き抜けにより狭くなっていないかどうか。

事務局：×点のところは、吹き抜けである。建ぺい率から計算して延べ床面積約1,500㎡が最大である。大きな建物にして詰め込んだほうがという意見もあったが、そうすることにより、廊下の部分が延べ床面積に取られてしまう、それを解消するため1階が独立させ上でつながるような設計となっており延べ床面積は最大に使っている。

委員：駐輪場が狭いのではないか。

事務局：かなり収容できるように事業者と話し合っている。

委員：学校図書館の拠点館ということなので、協力員が集まることもあるので駐車場、駐輪場は多くしてもらいたい。

委員：仲町公民館は、新しくなるまで使えるのか。

事務局：完成してから引っ越しをする。その後、取り壊すことになっている。

会長：読書ラウンジは、全て図書館部分と考えていいのか。そして、読書ラウンジに書架が並んで、今の仲町図書館の70%の所蔵ということだが、このスペースで入るのか。

事務局：読書ラウンジは全て図書館部分である。所蔵については、事業者にも確認しているところであり、書架がどのくらい入るか計算して閉架4万冊、開架3万冊所蔵できることになっている。

委員：児童書も含めて3万冊か。

事務局：そのとおりである。

委員：現在の70%の所蔵で利用者の意見はどうなのか。

事務局：今回の住民説明会での意見はなかった。6月のパブリックコメントにおいて、できる限り減らさないでという意見は、何件かあった。現在、仲町図書館の閉架書庫にある蔵書を各館に移管し、貴重な本として所蔵するもの、ブックリサイクルに出すもの、汚破損により廃棄するものに仕分けを行っている。

委員：駐車場については、コミュニティバスがあるので利用すべきである。本を削減することについては、開架書庫は、その場で読む新しい本を7割くらいあれば充分であり、その他はインターネットでのリクエストにより対応可能ではないか。

事務局：駐車場については、確保できないか思案はしているところであるが、今言われたようにコミュニティバスの利用もPRしていきたい。本については、公立図書館として保存しなければいけない本、リサイクルする本など見極めながら進めていきたいと考えている。

委員：おはなし会のことについて、図書館は、2階で児童を集めて地下のおはなし室に行き、また2階に上がるという動線で考えているのか。

事務局：今は2階と考えているが、実際に始めてみて不都合があれば、1階に事務室もあるのでそこでということもありうる。いずれにしても、職員が誘導をして安全を図りたい。

委員：先ほど、読書ラウンジの一角をおはなし室にといったが、できれば多目的室をおはなし室にしてもらいたい。

委員：基本的なことだが、3階のテラスはどのようなようになるのか。

事務局：花小金井図書館のテラスのように、外に出て外気を感じながら本が読めるようにする。住民説明会において近隣の方からプライバシーのことで意見があり、北側のテラスは外に出られないようにし、屋上緑化的なことにする。

委員：3階にトイレがないが。

事務局：これも説明会において意見があり3階にもトイレを作ることになる。

委員：住民説明会において、公民館と図書館が併設されて調理室で料理することによる臭い、陶芸などで音が出ることについて2階の読書ラウンジでの影響はないかという意見はなかったか。

事務局：具体的にはなかったが、音の配慮事項として、地下1階のピアノがある学習室、ホールは、防音になっている。調理、陶芸については、できる限り音などでないような配慮をしていきたい。もう一度事業者を確認していきたい。

委員：小川西町図書館は、1階が公民館となっており調理室とホールがあるが2階に臭いや音が響いたということはなく、たまにコーラスの声が聞こえるくらいである。

会長：2階の吹き抜けのところと読書ラウンジとの境は壁になってくるのか。図書館側は、壁面を使いたくなり、もったいない作りになっているように感じる。逆に図書館の書架の配置が難しくなるのではないか。

事務局：吹き抜けは、2階が離れていて3階はくっ付いている。壁面は使われていないが、冊数などもう一度確認していきたい。

会長：事務室は、1階と地下にあり、公民館とどうなるのか、図書館は整理をする作業室がほしいということだが、大丈夫なのか。

事務局：1階に大きな事務室を取りたかったが、エントランスラウンジなどがあるために大きなスペースは取れない。作業する場所が必要となるために1階、地下に分かれ、作業は地下で行うことになる。

委員：2階、3階のカウンターは、どこに置くのか。

事務局：位置については、決定していないが、できる限り見通しのきく場所にす

る。

委員：地下に届いた本は、エレベーターを使って開架書庫に戻すのか。他に本のためのエレベーターはないのか。

事務局：エレベーターは、一つである。

委員：公民館と併設なので、両方の利用者の利用と本の上げ下ろしもあるのでどうか。

事務局：エレベーターは、大型にできるかどうか確認する。

委員：閉架書庫について、本が閉架書庫にある時に3階から職員が駆け下りていくのか。

事務局：そのことについては、機能面で厳しいところがある。

委員：階段は、2か所必要なのか。1か所は、外階段にし、そのスペースに作業用リフトを設置したらどうか。

事務局：消防法で2か所必要とのことである。外階段については、事業者に投げかけている。作業用のリフトに関しては事業者と検討してみたい。